

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 26 年度 第 7 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 26 年 12 月 5 日 午後 6:35～午後 8:00
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 7072 教室
- 3.理事総数 17 名
- 4.出席者数 7 名（書面表決書 5 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、吉村豊、小林均、
比嘉正樹 敬称略）
書面表決書（黒田伸、森川貞夫、鈴木良雄、岩山海渡、前河洋一 敬称略）
オブザーバー（池上孝則、櫻井由香 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（10 月 31 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等が
なかったので承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より各事業の状況について報告があった。
- J S I E マラソン完走教室
参加者は毎回コアメンバーだけの 3～4 名で推移している。大会シーズンに入ったので、
新規の参加者も少し増えている。
- 熟年ランニングスクール
12 月～3 月期は出入りもあるが在籍者 10 名でスタートした。12 月 2 日(火)は宇佐美氏
が講演する「スポーツ現場力セミナー」用の写真撮影もあり、10 名全員が参加した。
- 浦安・美走塾
本年度の 2 回目は残り 2 回となったが、子どもたちの走りは格段に良くなっているよう
である。
- 第 4 号議案 「孫基禎記念平和マラソン」について
小林氏から視察の報告があった。
森川、小林両氏が 11 月 16(日)に主催者である孫基禎記念財団を訪問して事務局長のイ・
ジュン・スン氏と面談した。当初情報では大会開催が 16 日と言うことだったが、実際には
1 週間後の 23 日だったので、大会自体の視察はできなかった。
大会は孫基禎氏の功績を顕彰するとともに南北統一に向けての活動の一環として開催されて
おり、スタート・ゴールはソウルオリンピックのメイン競技場で参加人数はフル、ハーフ、

10K、5K合計で約13,000人。外国人参加者は約400名とのことだが、詳細は不明。市民ランナー交流の場として、当協会の活動の場とはなり得ると考えるが、主催者には積極的に海外からのランナーを誘致する姿勢はあまり見受けられない。言葉の問題もありそうなので、取り組みについては今後よく検討したい。

第5号議案

講師派遣依頼等について

保原氏より当協会に対する講師派遣依頼について報告があった。

■「スポーツ現場カセミナー」

宇佐美氏に対して、東京スポーツ・レクリエーション専門学校から12月6日(土)開催の「スポーツ現場カセミナー」の基調講演の依頼があったのでお受けした。

■静岡マラソン

宇佐美、山西の両氏に対して、ゲストランナーおよびランニング教室講師の依頼があった。前日のランニング教室についてはスケジュールの関係で宇佐美氏のみとなったが、当日のゲストランナーは両氏共受けることになった。

いずれのイベントについても主催者から協会宛に講師料が頂けるので、両先生に対する謝礼金については個別に相談させて頂く事になった。

第6号議案

市民ランナー交流セミナー・国際交流駅伝について

保原氏より進捗状況について報告があった。

■第5回国際交流駅伝

現時点での参加申し込みは8チームのみで、出足が悪いので参加呼びかけをお願いしたい。昨年からはじめた大使館チームの招待に関しては、オーストラリア、スウェーデン、南アフリカに招待状を送付した。今後、ニュージーランド、ベネズエラ等打診してみる。

■第7回市民ランナー交流セミナー

確定していない項目について審議を行った。

【会場】

日大経済学部7号館が大学院入試のため使用できなくなったので、立正大学品川校舎、東京海洋大学越中島キャンパス、東京大学を代替場所として検討することになった。

【第一部：郷土愛で創る日本流”おもてなし”のランニング大会】

ースポーツライター増島みどりさんによる基調講演の演題は「女性取材者からみ見た“おもてなし”のランニング大会（仮題）」。

ー大会紹介は静岡マラソン、足立フレンドリーマラソン、歴史街道マラニック&さくらマラニック、アジア・オープン・アームレスリングの4大会にお願いすることになった。

おもてなし、国際交流に焦点をあてたプレゼンテーションをお願いする。

ー展示ブースには池上氏開発の「フィニッシュタイム変換システム」の紹介コーナーをもうけると共に、展示希望の大会にはPRコーナーを提供する。

参加者がゆっくり見られるように、第一部と第二部の間に30分の休憩時間を入れる。

【第二部：パネルディスカッション】

ー前回のフォーラムの続編として「ランニング大会での日本流”おもてなし”を海外ランナーに伝えよう」をテーマに海外への情報発信について考える。

ーコーディネータは比嘉氏が行い、パネラーは第一部の発表者に加え、旅行業界、メディア関係者の方にもお願いします。人選は今後早急に行い、依頼をする。

【第三部：懇親会&パスタパーティ】

ー東京マラソン前日なので、東京マラソン参加者のためのカーボローディングとして、「パスタパーティ」を開催する。

ー宇佐美、山西の両氏に「東京マラソンコース攻略のためのワンポイントアドバイス」を話して頂き、その後は食事をしながらのQ&Aタイムとする。

【案内・告知・宣伝】

ー大会参加者には昨年作成したリストに基づいて、メールで案内を送付する。

ー旅行者、メディア関係者に対しては黒田氏と相談して、効率的な方法で告知する。

ー東京マラソン参加者を含めた一般ランナーへの宣伝・告知はFacebook等を活用することを検討する。勿論、理事の皆さんのネットワークで告知して頂きたい。

【要項・チラシ】

ー早急に作成し、年内には大会主催者宛に案内を送付する。

ー一般参加者向けのパスタパーティ用のチラシは別途作成したい。

第7号議案 その他

■役員改選について

理事の皆さんに、継続の意思確認をした結果、釜崎氏、岡田氏からは辞任したい旨連絡があった。

なお、以前連絡を頂いている近藤氏および監事の関口さんを含め、4名の方が役員を退任することになった。

■次回理事会について


1月16日(金)の午後6時30分から理事会を行うことになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時00分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成26年12月5日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 佐藤文宏 

議事録署名人 宇佐美 彰朗 

議事録署名人 保原 幸夫 